

叙勲 瑞宝双光章 受章



くろさわ あきのり
黒澤 昭典

昭和34年1月15日生 (65歳)

【経歴】

昭和57年 3月 駒澤短期大学 卒業

【職歴】

昭和57年 4月 横浜病院 入職

昭和57年12月 同 退職

昭和58年 1月 労働福祉事業団 東京労災病院 入職

平成27年 4月 独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山労災病院 異動

(中央放射線部長 就任)

平成31年 4月 独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 異動

令和 2年 4月 独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 非常嘱託

令和 6年 3月 同 退職

現在に至る

【団体歴】

平成19年 4月～平成21年 3月 社団法人東京都放射線技師会 理事

【賞罰歴】

平成25年 7月 30年勤続表彰 労働者健康福祉機構

平成25年 9月 勤続30年表彰 公益社団法人日本診療放射線技師会

平成28年 6月 小野賞 (地域医療功労) 公益社団法人東京都診療放射線技師会

瑞宝双光章を受けて

黒澤昭典

この度東京都診療放射線技師会の推薦により、令和6年春の叙勲において瑞宝双光章を頂戴致しました。江田会長をはじめ関係者各位には心から感謝申し上げます。

診療放射線技師免許取得後、個人病院をへて東京労災病院に入職し、転勤で東京を離れましたが労災病院での定年を迎えました。職場では先輩技師からしっかりと判断できる画像を描出するよう強く指導され、画質の向上に取り組みました。日々、目の前の仕事に取り組んでいただけた私が何故と思っております。

中澤靖夫元会長の「技師会活動を楽しもう」との話を伺い、技師会活動に参加して研修会等の企画運営に携わりました。好評であったもの、不評であったものといろいろでしたが、一緒に企画に携わった仲間や研修会に参加して会を活気づけていただいた会員の皆さまに御礼申し上げます。また、活動を支えてくれた家族にも感謝しております。都外への転勤もあり技師会活動から離れることとなりましたが、現在は技師会の事業に参加できることを楽しんでおります。

伝達式において小池都知事に「これからも都民のために尽力せよ」と賜り、東京都診療放射線技師会が都民のために活動を行い、また認知されていたことを痛感致しました。改めて、この「章」は東京都診療放射線技師会並びに皆さまの代表として、いただいたものと存じます。

このような会に携われた事に感謝致し、今後も皆さま方に少しでも恩返しをすることができるよう、より一層精進してまいりたいと思います。最後にはなりますが、これからも東京都診療放射線技師会の益々のご発展と皆さま方のご健勝を祈念申し上げます。

黒澤昭典先生 瑞宝双光章 叙勲 祝辞

会長 江田哲男

この度会員の黒澤昭典先生が本会からの推薦により、令和6年春の叙勲「瑞宝双光章」を受章されたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

黒澤先生は平成19年から平成21年3月末まで1期2年間学術担当理事を歴任され、本会の学術教育にご尽力いただきました。特に平成21年の第1回関東甲信越学術大会においては企業展示担当責任者となり、協賛された多くの企業の調整等を積極的に行っております。その後も学術委員として多くの学術イベントにてご尽力いただきました。

以上の功績が称えられ、平成28年に地域医療功労として小野賞もご受賞されています。

学術担当理事としては2年間、本会役員としてご活躍されましたが、現在も本会のイベントに一会員として参加されており、日ごろから医療人として向学心を持ち続けるその「姿勢」に対し、深く敬意を表します。

この度の黒澤先生のご受章は、診療放射線技師としてのご活躍が国民に対し、大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も黒澤先生の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。